

重要な構成要素「^{さんぶつや}三仏屋」

建築：

参道の景観を構成する要素

「三仏屋」は、神佛具、御念珠、線香などを販売する木造2階建ての店舗です。小規模間口、^{つま}妻入り^(注)の参道北側に多く分布する種類の店舗です。

参道を歩を進めていくと、柴又帝釈天に近づくにしたがって仏具を取り扱う店舗が目立つようになります。

三仏屋は、外壁、看板などを改修していますが、全体としては当初の姿をよくとどめており貴重な建物です。参道側が開け放たれ、軒庇上に看板を置き、開放的な1階軒庇下に商品が陳列され、対面での販売が行われています。参道側の外観は、ファサードが連続した参道において、屋根、^{ひさし}庇などのまちなみの表情を作る要素によって賑わいを演出しています。

(注) 妻とは棟と直角の壁面のこと。妻入りは、妻に出入口を設ける建築形式。また、妻を正面とするもの。(広辞苑第七版)